

建設防災委員会実地視察報告

2025 年 7 月 2 日に、建設防災委員会が新東川崎ポンプ場を視察しました。

J R 神戸駅の南東に位置する東川崎町周辺地区は地盤が低く、これまでも台風等による浸水被害が生じており、特に 2018 年の台風 21 号襲来時は、国道 2 号線の冠水や家屋の床上・床下浸水が発生するなど、大規模な浸水被害が発生しました。

そこで、浸水からまちを守るため、新たな雨水ポンプや雨水幹線などの整備を進め、2025 年 4 月に新しいポンプ場が供用開始されました。

今回の視察では、施設の概要について説明を受けた後、従来のポンプ場と比較して排水能力が向上した雨水ポンプや遠隔で迅速に対応できる監視操作設備を見学しました。

